

報道関係者各位
プレスリリース

2022年9月13日(火)
株式会社 Braveridge

Braveridge の『冠水監視システム』を福岡県糸島市が 市道の道路冠水の監視を目的に市内 2 箇所へ導入

株式会社 Braveridge（ブレイブリッジ、本社：福岡県福岡市西区、代表取締役社長 小橋泰成、以下 Braveridge）は、福岡県糸島市（市長 月形祐二、以下 糸島市）に『冠水監視システム』が導入されたことを 2022 年 9 月 13 日（火）発表いたしました。



■糸島市、道路冠水の監視を目的に冠水監視システムを導入

近年、多発する集中豪雨などの災害によって各自治体では監視体制の整備が急務となっているなか、糸島市では、市道の「道路冠水」の監視を目的に、2022 年 4 月から『冠水監視システム』を導入。現在、糸島市内の 2 カ所に冠水センサーが設置されています。



■糸島市 建設課 永翁浩功氏のコメント

糸島市では、建設課が管理している市道、市民の皆さんが日常的に使う道路の冠水監視を目的に、今年度、市内の 2 カ所に Braveridge の冠水監視システムを導入しました。

先日、夜半から未明にかけて激しい雷雨がありましたが、改めて実感したのは、現地に見に行かなくても、今現在どういった状況が直ぐに確認できるというメリットですね。しかも、今後の対応に活かせる、という意味では、警戒水位に達した後の水位の増減を見ることができる、というのはとても大きいですね。

どのくらいまで水位が上がって、どのくらいで水が引いたか、そうした水位の変動まで記録ができるので、そのデータを蓄積し、どのくらいの雨量であれば冠水の危険があるなど、水位の変動を見ながら、早め早めに対応の準備ができるようになればと考えています。

冠水センサー

CSV出力

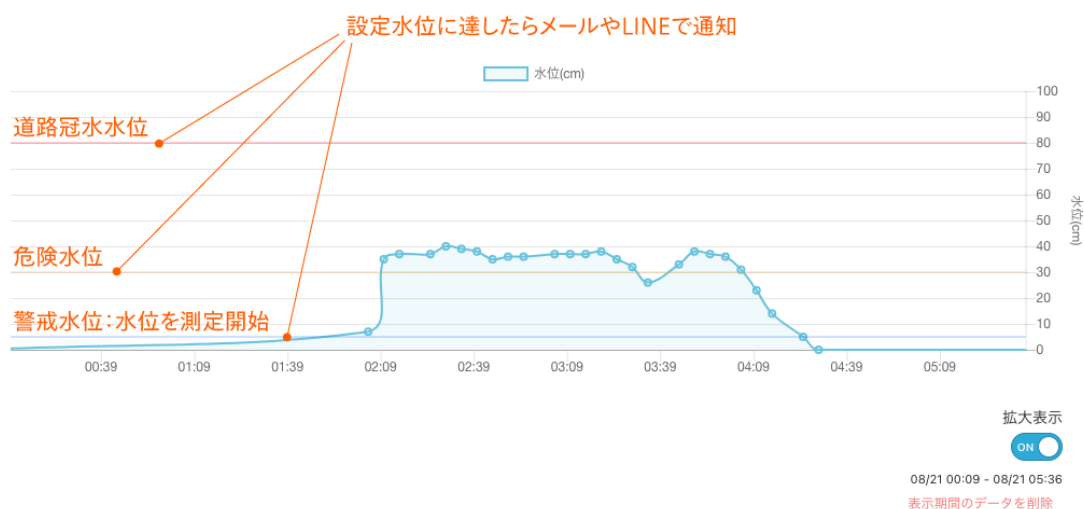
系島市 - 冠水センサー1号

表示期間

2022-08-21

2022-08-22

直近1ヶ月



当日の水位の変動を表示した Web 画面

■導入事例：『糸島市、道路冠水の監視を目的に冠水監視システムを導入』

URL : <https://www.braveridge.com/case/itoshimacity>

■Braveridge 『冠水監視システム』

<https://www.braveridge.com/product/archives/45>

小河川や用水路、道路やアンダーパスなどの冠水を検知するリーズナブルな『冠水監視システム』です。

- 冠水センサーの検出部に水位が達したことを検知しメールや LINE で通知するとともに、警戒モードに移行して水位の変動を継続監視。さらに予め設定した危険水位、冠水水位に達した際にも通知を行います。
- 電池駆動で約2年間の動作が可能(※)、外部電源やソーラーパネル給電が不要で設置がかんたん、さまざまな場所で利用可能。 ※設置場所の電波状況や冠水後の水位計測期間により変動します。
- さまざまな用途にも導入しやすい低価格なシステムを実現。
- インターネットを通じて、PCやタブレット、スマートフォンなどのWebブラウザで、いつでもどこからでも現場状況を確認可能。

■会社概要

名称 : 株式会社 Braveridge
 代表 : 代表取締役社長 小橋 泰成
 資本金 : 100,000,000 円

所在地 : 福岡県福岡市西区周船寺 3-27-2
 設立 : 2004年7月
 URL : <https://www.braveridge.com/>

株式会社 Braveridge は、累計 100 万台以上の IoT デバイス製造・販売を行ってきた『IoT デバイス屋』。福岡に自社工場を持ち、Bluetooth®LE や LTE-M など無線通信技術を軸に、IoT デバイスの企画・開発・量産・販売を行っています。『IoT デバイス屋』の目線で考え抜いた、IoT デバイスを API で操作する IoT ネットワークサービス、IoT センサーデバイス開発を効率化するハードウェアユニットシステムといったクラウドとハードウェアのプラットフォームで IoT システム開発を最速化。総合的な IoT サービスの実現環境を提供しています。